

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成24年度第1回 第3分科会（都市生活基盤分野）
日時	平成24年10月19日（金） 午前10時～正午
場所	江南市市民体育会館 2階 第3会議室
出席者	市民委員 庄田 圭介、鈴木 輝親、中島 明温、永田 広光、市川 七生、加藤 幸治、佐橋 浩昭、柴田 広美
	市職員 吉野 賢司、郷原 実智雄、鈴木 慎也、沢田 富美夫、大森 淳一、鶴飼 俊彦
議題	1. 江南市戦略計画について 2. まちづくり会議について 3. 委員及び市職員の紹介 4. 会長及び副会長の選出 5. 施策評価の結果について 6. 第2回の会議日程について
資料	資料1 まちづくり会議について 資料2 平成23年度施策評価の結果

◆ 会議結果 ◆

1. 江南市戦略計画について

- ・経営企画部長より、江南市戦略計画について、これまでの策定経緯やその概要の説明がありました。

2. まちづくり会議について

- ・行政経営課行政マネジメントグループリーダーより、資料1に基づき、まちづくり会議の目的、組織、役割、今後のスケジュールについて説明がありました。

3. 委員の自己紹介

- ・各委員から自己紹介がありました。

4. 会長及び副会長の選出

- ・会長に加藤幸治氏、副会長に柴田広美氏が選出されました。

5. 施策評価の結果について

施策評価の結果について

- ・資料2に基づき、事務局より説明
- ・投入コストやニーズが適正なのか、資料が無く結果だけなので、適正と判断していいかわからない。予算書やニーズの調査票などの資料をみせていただかないと、審査が出来ないという意見があり、投入コストとは、事業費以外の隠れたコスト（人件費、退職給与引当金繰入、減価償却費、公債費）を事務事業単位で正確に把握したものです。今時点では、お渡しできる資料が作成してありませんので、次回以降で資料としてお渡しできるように検討しますとの説明がありました。

〔柱1〕秩序と賑わいのある快適なまちづくり

- ・資料2に基づき、委員（まちづくり課長、まちづくり課統括幹）より説明がありました。

【施策②】 中心市街地の基盤整備

- ・布袋地区まちづくり団体活動事業で、かなりの予算が使われていますが、どんなまちづくり団体があるのでしょうか。古知野では活動している団体はありませんが、具体的に鉄道高架や市街地整備協議会があがっていますが、布袋にはいくつぐらいの団体があり、どのような活動をしているかとの質問があり、一番構成人数が多い団体は、布袋地区（22区）の地域の役員さん（約80名）で構成される「布袋地区鉄道高架・街づくり協議会」です。個別のまちづくり団体として、「ほていコミュニティ協議会」、「布袋駅舎保存会」です。この3団体が直接、市が支援している団体であり、その他にも布袋小学校の関係の「おやじの会」、「布袋地区鉄道高架・街づくり協議会」の専門部会として朝市などの活動をしている「ほてのクラブ」などがありますとの説明がありました。

【柱2】 人にやさしいまちづくり

- ・資料2に基づき、委員（土木建築課長）より説明がありました。

【柱3】 花と緑あふれる公園づくり

- ・資料2に基づき、委員（まちづくり課長）より説明がありました。

【柱4】 公共下水道の普及促進

- ・資料2に基づき、委員（下水道課長）より説明がありました。

【柱5】 浸水被害のないまちづくり

- ・資料2に基づき、委員（土木建築課長）より説明がありました。

【施策①】 河川の改修整備と雨水抑制機能の強化

- ・雨水浸透施設設置補助金申請件数は、雨水浸透柵の補助金という意味ですかとの質問があり、雨水浸透施設設置補助金というのは、浸透柵・浸透トレンチ管（柵と柵をつなぐ管）・透水性舗装・雨水貯水タンク、浸水防止柵などが補助金の対象となりますとの説明がありました。
- ・雨水浸透柵設置数の達成状況は、☂となっていますが、浸透柵の設置数では目標を達成していませんが、補助できる対象すべてで評価する雨水抑制事業としては、順調に補助件数も伸びており、A評価となっていますとの説明がありました。
- ・山尻のお宮さんの北ですが、少し雨が降ると床下近くまで浸水してしまう。何十年も同じ状況が続いている。住民からの要望で、側溝整備や柵の設置などをしていただいているが、設置した後、大雨が降ったときに、結果を見に来て、整備した効果を確認し、これからやるべき対応を考えてほしいと住民から要望がでていたとの意見があり、昨年までは、大雨が降ると土木建築課の職員は土嚢運びや交通規制を行っていましたが、今年度からは、土嚢運びや交通規制は、別の課の職員で対応することになり、土木建築課の職員20名は、パトロールを回るようになりました。大雨が降った状況での確認をしたいので、今年は今までに4回程パトロールを行いました。大雨は一気に降り、2時間後には雨が引いてしまっている状況で、被害の大きそうなところからパトロールするため、なかなかすべての場所を確認することができていない状況です。状況を把握してから、次の対策を見出していこうとしておりますので、今回の意見を受け止め、対策していきたいと思っておりますとの説明がありました。
- ・雨水浸透施設設置補助金設置要綱に、遮光性があるものが対象となっていたと思うのですが、遮光性がないものにも、補助が出ているような気がする。補助件数を増やすために、要綱で対象になっていないものも補助したようにも思えるのですがとの質問があり、遮光性のタンクにすると、藻が生えないきれいな水になります。使用するものが、庭の水撒きなどであれば、藻が生えている水でも問題はないと考えます。きれいな水であれば、洗車など用途は増えるという意味で、遮光性という条件をつけてありま

すが、水を溜めるという意味であれば、藻が生えても問題はありません。まずは、普及促進が第一と考えます。各店舗でも、市の補助率を貼っていただくなど、協力していただき、補助金については、22年度 300 万円、23 年度 800 万円、24 年度中間決算時点で 1,600 万円です。設置していただくことにより、江南市のくぼ地の方にどう対応していくかというテーマで、市民の皆さんで取り組んでいくという中で、浸水対策に対する意識を持っていただくことに繋がると考えています。最高 30 万円まで補助できますので、高額のものについては厳格に審査していますが、金額が小さいものについては、あまり厳格な審査を行うことより、普及を優先に補助をしていますとの説明がありました。

・雨水浸透施設設置補助金について、対象になるものの一覧があるとわかりやすいとの意見がありました。

【柱6】安心・安全な住環境の確保

・資料2に基づき、委員（土木建築課統括幹）より説明がありました。

【施策①】適切な開発許可と建築指導及び、木造住宅耐震化の促進

・開発許可や建築許可に対する指導件数の、目標値が 260 で、実績値が 219 ですが、目標値より高くないのに、※となっているのはどうしてですかとの質問があり、開発許可や建築許可に対する指導件数は、目標値が減少していく指標になっておりますので、「目標値÷実績値」で計算しますので、※となっていますとの説明がありました。

【その他】

- ・まちづくり会議について、これだけの膨大な提案の中で、評価されたものについて、市民としてやっていることがあれば、発表してもいいですかとの質問があり、市民として行っていること、感じるものがあれば、この会議は意見をいう場であるので、発表していただいて問題ありませんとの説明がありました。
- ・全体会議については、分科会の会議で提案した中の一部を、全体会議で発表するのですかとの質問があり、分科会の中での意見をまとめたものを、全体会議で発表します。全体会議の中で、各分科会での意見をまとめるとう形になりますとの説明がありました。

6. 第2回の会議日程について

・第2回の会議日程について、次のとおり決定しました。

<第2回> 11月12日（月）午後2時～